

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名

【 熊本県 】 熊本県立八代東高等学校

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	生徒 383 名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (講演：ロングホームルーム)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 (実技：部活動)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高める。
5 取組内容	<p>パラリンピアンによる講演会及び実技指導</p> <p>平成30年1月24日(水)に本校にて、伊藤友広氏(4×400mリレー：アテネ大会4位)を迎え、講演会及び実技指導を行った。</p> <p>(1) 講演</p> <p>講演では、まず伊藤氏が出場した2004年のアテネ大会の4×400mリレーの映像を見ながら、レースの解説を行っていただいた。その上で、競技を行っている中で大切にしていたことやトレーニングについての考え方についてお話いただいた。詳細は以下の通りである。</p> <p>22歳でオリンピックに初めて出場したが、オリンピック出場後は成績が伸びずに苦しみ8年後の30歳で引退した。</p> <p>競技をしている中で、選手として成長するために心掛けていたのは、目標設定、トレーニング、自分とはを考えることを大切にしていた。</p> <p>目標設定は、大きな夢と現実的な目標の2つを設定することが重要で、目標の設定後には、期限を明確にすることとやり抜く力を高めることが必要である。</p> <p>トレーニングは、コンセプトを決め、戦略を複数たて、その中からベストな戦略を立てる、そして実行するというプロセスを経ることが</p>

	<p>らビジネスに近い。</p> <p>最後に自分とは何かを考えると、自分を知り他者を知ることによって周囲の大切さを知ることができるということ。そして周囲を協力して成長することでチーム全体の成長につながり、それが強さになる。</p> <p>結局、自分が成長すること、それがまわりを考えることになり、全体の成長につながる。「自分が変われば世界が変わる」が好きな言葉である。</p> <p>(2) 実技指導 体育コースの1, 2年生及び陸上競技部の生徒を対象に、指導をしてもらった。</p>
6 主な成果	<p>講演の内容からみる成果</p> <p>自分を知ることが他者を知ることになり、自分の成長が他者の成長にもつながるということを理解した。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>体育コースの生徒を中心に、講演後に実技指導を実施することができた。</p>
8主な課題等	<p>インフルエンザの影響で欠席者が多かった。時期等の見直しも含めて検討していく。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>実施予定</p>